

アゼルバイジャンー日本関係が新たなステージへ

ムサ・マルジャンリ、
編集長

日本はアゼルバイジャンとの積極的なパートナーシップを確立した、極東で最初の国の一つである。この国は、1991年12月にアゼルバイジャンを認識していて、1992年9月に2国間の外交関係を確立した。最も急速に二国間の経済的、文化的関係を発展している。

日本とアゼルバイジャンの関係の歴史は、まだよく研究されていない、しかし、ご存知の通り、旭日の国にアゼルバイジャンへの関心は昔からされている。前世紀の60年代にソ連の共和国であったアゼルバイジャンと日本の中に新たなステージの連携開始した。二国間の接点は、文化的な分野から始まって、徐々に経済協力の出発点となった。作家、芸術家や他の芸術の方の訪問が両国民の相互の知識を促進した。アゼルバイジャン経済的及び文化的な結びつきが独立性を得たため、二国間の新たなレベルに上昇していて、フル友好的な性質を得た。これの明確な証拠は日本の伊藤とアゼルバイジャンのイスマイリが双晶の都市であるのを確立することができる。日本政府はイスマイリで「日本庭園」に敷設され、市の学校、幼稚園や医療局の建設を支援した。イスマイリに何回も日本代表団が来たことがある。2013年に、アゼルバイジャン町の代表が伊藤を訪問した。11月22日二つの都市の間でフレンドリー交換契約が締結された。このドキュメントでは、日本とアゼルバイジャンの関係の更なる発展、両国の人々の中の接点の拡大のための新たな機会を開いた。

アゼルバイジャンでは毎年、日本から多くの観光客が来るのがうれしいことである。これはアゼルバイジャン文化、アゼルバイジャンの人々の習慣や伝統について、日本で知識の普及の可能性を増大させる。アゼルバイジャン、その多様な自然と、古代の歴史、豊かな文化、民族的・宗教的多様性は歴史的なシルクロードの西の端に旅行大好きな観光客のための本当の楽園である。IRS-I SANマガジンの主な目的アゼルバイジャンを日本へ知らせることに応じて、親愛なる読者、あなたたちを火の国に歓迎する。